

## 採択理由

プログラム名：健康研究成果の実用化加速のための研究・開発  
システム関連の隘路解消を支援するプログラム  
課題名：多能性幹細胞由来移植細胞の安全性評価研究  
提案機関名：財団法人先端医療振興財団  
研究代表者名：西川 伸一

---

## コメント

本提案は、網膜変性疾患を対象とする、iPS 細胞由来細胞の移植による再生医療の実用化を目指し、その臨床研究実施に向けて、同移植細胞の腫瘍原性試験及び免疫原性試験を具体的に実施しようとする重要な取組である。網膜変性疾患を対象とする再生医療は、移植に必要な細胞数が少なく、混在する未分化細胞の排除に有利な条件を備えており、その実用化に向けて、一点突破の姿勢で iPS 細胞由来細胞の安全性の問題を早期に克服しようとする計画及び実施内容は、本プログラムが趣旨とする隘路解消に合致し、iPS 細胞由来細胞を用いる他の実用化研究にも大きな波及効果を及ぼすことが期待できる。

課題の実施に際して、実施体制の強化を図り、専門家の協力のもとに薬事面の対応にも十分に配慮しつつ、計画を前倒しして安全性の検討を速やかに推進し、予定される臨床研究につなげることが求められる。